

新型コロナウイルスが未だ猛威を振るう中、いよいよ、日本で行われる東京オリンピックが開催されました。子どもたちに、4年に1度のオリンピックがこの日本で行われることを話すと、「知ってるよ!」と多くの子どもたちから声が聞こえました。お家でもオリンピックの話題が出ているのかなあと、関心の強さを感じました。

さて、それでは年長さんに宿題を出してみようかなと思い、オリンピックではどんなスポーツがあるのか、福井県出身のオリンピック選手はいるのか…。気づいたことは何でもいいから調べて来てね!と週末にお話をしました。すると、月曜日の朝、「先生、ぼく調べて書いてきたよ」と伝えに来てくれました。宿題を出しておきながら、まさか覚えていてくれたとは!!本当に驚きました。そして、話をしっかり聞いてくれていたことに嬉しさも感じました。その紙には、一生懸命書かれたたくさんのカタカナの文字。

みんなで読みながら、知らない種目があることを知ったり日本から生まれたスポーツを知ったりと、1人の気づきからたくさんの子どもの興味関心につながっていきました。

次の日、「私も調べてきたよ」とメモ用紙を手渡してきました。そこには、福井県出身のオリンピック選手が書かれていました。前の日の出来事が心に留まっていたのでしょうね。

こうやって、子ども達は遊びの中や生活の中から感じる事、気づいたこと、不思議に思ったことなどを話し合っています。自分の話を相手に伝えたり、相手の話を聞き入れたりしながら毎日毎日、心も身体も大きく成長しているんですね。

副園長 岡倉 裕理子

熱中症に注意して下さい!!

先日、越前市の高齢者の熱中症による死亡事故がありました。その日の夕方、熱中症警戒アラートは出ていなかった状況での死亡事故と言うことで衝撃が走りました。夕方であるということもあってか、冷房を使っていなかったとのことでした。体温で暑いと感じていなくても湿度が高かったり、体の中の水分が十分に足りていなかったりすると、死亡事故に繋がることがありますので、ご家庭でも、室温、湿度に気を付けて、冷房を上手に使って熱中症対策をお願い致します。

～山の日について～

8月8日は『山の日』です。(例年8月11日)
山の日は、山と仲良くなり、「ありがとう」と感謝する日です。私たちの住んでいる日本は半分以上が山で出来ているそうです。山は空から降ってきた雨を一度、受け止めてくれたり、動物がすむ場所だったり、普段みんなが使っている「木でできたもの」を生み出す場所だったり、生活になくてはならないもの。
私たちの生活とも繋がっている山をこれからも大切にしようという気持ちから作られた日です。

里山ほのか

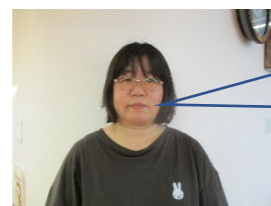
〒915-0892
越前市氷坂 14-2-1
TEL: 0778 (23) 0030
☆ホームページ↓
で検索
☆ブログ↓
『里山ほのか日記』
で検索

園周辺の送迎の徐行のお願い!!

吉野小学校の教育振興会の社会部より、「里山ほのか学園の保護者の送迎時の運転が危ない」との話が出ているそうです。今までも、ご近所の方より注意をされている所です。また、お子様をチャイルドシートに乗せていない保護者の方も多く見受けられます。子どもたちの命を守ることが出来るのは、私たち大人です。子ども達に、約束を守って欲しいのならば、私たち大人が約束を守って生活しましょう。
子ども達は、お父さん、お母さんの姿をしっかり見ていますよ。

ほのか学園に新しい先生が仲間入りしました。

●清水 恭子 保育補助・学童担当



よろしくお祈いします。

●事務職員の古市実紗は、出産の為退職いたしましたことをご報告いたします。

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
1	2 たのしくドレミ (5歳児)	3 茶道(5歳児) 	4 スイミング (5歳児)	5	6	7
8 山の日	9 振替休日	10	11 スイミング (4歳児)	12	13	14 お盆休み
15	16	17 避難訓練	18 スイミング (5歳児)	19 合気道 (5歳児) 	20	21
22	23 誕生会	24 茶道(5歳児) 	25 スイミング (4歳児) サッカー教室 (5歳児)	26	27	28
29	30	31 サッカー教室 (4歳児)	天候や新型コロナウイルス感染拡大状況によって予定が変更または中止となることがあります。			

9月の予定
28日 運動会
(4・5歳児)

～保健だより～

☆感染症対策・熱中症予防は、しっかりと☆

今年は梅雨明けが早く、すでにとても暑い毎日が続いています。熱中症予防には「早寝・早起き・朝ごはん」で体調を整えておくことが大切です。また、人の動きが多くなる夏休みは、感染症のリスクも高くなります。これまでも毎日続けてきた、検温・マスク・手洗いなどの感染症対策をしっかりと続けましょう。ただし!暑い夏は、熱中症も心配です。マスクを外してしっかり水分補給をしましょう。

夏かせ

夏かせを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があったり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

かゆみのある湿しんは「とびひ」かも

虫刺されや湿しんなどで傷ついた肌を汚れたつめでひっかくと、傷口に細菌が感染して「とびひ(伝染性膿痂疹)」になります。うみをもったような水ぼうがができ、強いかゆみが出ます。かゆいからといってひっかくと大変!水ぼうが破れて中の液が付いた所に、とびひがどんどん広がってしまうのです。水ぼうを見つけたら、つめでひっかかないようにガーゼで覆い、受診しましょう。

看護師：宇野競功